

これからの教育のこと

平成26年(2014年)もあと8日で終わろうとしています。今年も様々な出来事がありましたが、中津市にとっては、なんと言ってもNHK大河ドラマで、黒田官兵衛が取り上げられたことが一大ニュースではないでしょうか。私も毎週欠かさずテレビを見てまして、「おっ、中津城!!」などつぶやいておりました。

ところで、今年、大分県の教育に関するニュースの中で大きく取り上げられたのが、全国学力調査で県内小学校の学力が九州トップレベルとなり、全国でも15位と大躍進を遂げたことです。本校の6年生もほとんどの内容で全国平均を上回る結果が出ています。ここで、今、日本の教育がどのように変わろうとしているのか、お知らせしておきたいと思います。それは、「生きる力を育む教育を基盤としながら、世界に通用するグローバルな人間を育成する」教育が求められているということです。そのために文科省は、高校入試と大学入試のあり方を大きく変えようとしています。これまでの知識・理解力を問う暗記型の入試から、活用する力を問う総合型に次第にシフトしていくこととなります。これからは、課題を解決するために必要な情報を集め、分析、考察し、自らの考えを主張(表現)する力が求められます。ですから、この力は、小学校や中学校でもそれぞれの学年の発達段階に応じて身につけていかなければなりません。今、沖代小でもこのことをふまえて授業改善に向けての研究を続けているところです。

さて、明日から冬休み。この年末・年始にかけての休みが、子ども達にとって新たな学びの場と時間になることを心から祈っています。それでは皆様、どうぞ、よい年をお迎え下さい。

側溝工事並びにグリーンベルト化工事について

道幅が狭く、朝夕の交通量も多い沖代郵便局前の道路の歩道がグリーンベルト化されます。

工事期間は、1/5～3/15の予定です。期間中は、自動車は通行止めとなります。尚、歩行者と自転車は通行できます。工事中は誘導員が立っていますので、通行の際は指示に従って下さい。



持久走大会 12/12(金)

開校以来の沖代小学校の伝統「寒稽古」が12/1(月)より始まり、12日には、持久走大会が行われました。距離は、1・2年生1000m、3・4年生1500m、5・6年生2000mです。この日のために子ども達は、期間中毎朝10時10分からグラウンドに出て、3分(走る)・1分(インターバル)・4分(走る)と走り続けてきました。昨年度は、雨天で中止。本年度は寒い日となりましたが、開催できたことが何よりよかったです。寒稽古期間中は、体調を崩す子どもも少なく多くの子供達が持久走大会に参加することができました。



寒い中、グラウンドや沿道より、子ども達にたくさんの温かいご声援を頂き、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。